

| 科目： 保育原理 (選択2単位) | | 担当教員：海老澤宣子 担当形態：単独 | 使用テキスト：出版社名・テキスト名 (同文書院) 幼児教育の原理： 岸井勇雄・無藤隆・柴崎正行 |
|---|-----------------------------|---|--|
| 科目 | 教育の基礎的理解に 関する科目 | 施行規則に定める科目区分又は事項等 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及 び思想 |
| <p>授業到達目標及びテーマ：</p> <p>○到達目標</p> <p>教育や保育の基本概念や歴史及び様々な思想を身に付け、それらの相互の関係や変遷を理解する。また、教育課程や全体的な計画の役割の理解を深めると共に、幼児教育に基づいた指導計画や評価について理解しながら、幼児一人ひとりがその個性を發揮して「生きる力」を構想する方法を身に付ける。また、教育課程や保育課程の役割の理解を深め、指導計画（日案）の作成ができるようになる。</p> | | | |
| <p>授業の概要</p> <p>○基本的な学習内容（生きる力を育むために、保育者として必ず押さえておきたいことの基礎・基本【幼児理解・信頼関係・環境を通じた保育等の内容を学ぶ】）</p> <p>○基本を深めた内容（多様化する保育者の役割、教育課程・全体的な計画・日案作成、教育や児童福祉との関連を学ぶ）</p> <p>○発展的な学習内容（近年の動向、関連領域の知識などの内容を学ぶ）等を身に付ける。</p> | | | |
| 回 | 項目 | 内 容 | |
| 1 | オリエンテーション及び 教育とは何か保育とは何か | ・冒頭での授業の概要について説明を行う。また、教育・保育の理念について基礎的なものを学習する。 | |
| 2 | 生涯学習の中の幼児期 | ・生涯学習と発達課題、育み、世話をする者としての大人の発達段階、子ども期の発達と発達課題、幼児期と子どもの発達と教育等幼児とかかわり、子どもに必要とされること等を通して、幼児教育者としての発達が成し遂げられることを理解する。 | |
| 3 | 幼稚園と保育所及び 幼保連携型認定こども園 | ・教育と福祉【子ども・子育て支援制度についての理解を深める（幼・保・幼保連携型認定こども園）】、共通する「保育」の精神（環境を通して）、子育て支援センターについて学ぶ | |
| 4 | 教育課程及び全体的な計画の 基本 | ・幼稚園における教育課程及び保育所における全体的な計画について、環境を通して行う教育、幼児期にふさわしい生活の展開、遊びを通しての総合的な指導、一人ひとりの発達の特性に応じた指導等の理解を深める。 | |
| 5 | 目的・目標・ねらい・内容 | ・幼稚園教育及び保育所における養護と教育の目的と目標について理解し、領域とは何かまた、「ねらい」と「内容」はどのような関係があるかを理解する。 | |
| 6 | 教育課程及び全体的な計画 と指導計画 | ・教育課程及び全体的な計画と指導計画や指導計画の種類また、指導計画を立てるポイントを理解する。保育実践に用いる指導計画を実際に作成する。 | |
| 7 | 幼児の活動 | ・遊びの歴史的人物のそれぞれの遊び論、教育論を学びながら、幼児教育は、遊びを中心とした総合的な活動を大切に捉えていることを学び、幼児に提供すべき豊かな遊びについて考える。また、遊びにおいて個々の子どもの自発性を引き出すことや遊びの深化について考える知識を身に付ける。 | |
| 8 | 環境の構成 | ・幼児にとって環境の持つ意味や物的環境が持つべき特性及び人的環境が持つ排他性を具体的に理解する。また、「望ましい環境」と保育の本質、特質を理解する。 | |

| | | |
|----|------------------|--|
| 9 | 指導法（保育の方法） | ・子どもの生活にとってどのような意味があるのかを具体的な保育形態から知る。また、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の基本的な関係を理解する。環境を通じた保育を基本としながらその中で育つ個と集団、協同的な遊びについても学ぶ。 |
| 10 | 模擬保育（1） | ・模擬保育を実践する——3歳児の日案作成をする ・指導計画が適切であったかどうか、評価のポイントについて学ぶ。 |
| 11 | 模擬保育（2） | ・模擬保育を実践する——4歳児、5歳児の日案作成をする ・指導計画が適切であったかどうか、評価のポイントについて学ぶ。 |
| 12 | 健康及び安全 | ・子どもの健康支援、環境及び衛生管理並びに安全管理、食育の推進、健康及び安全の実施体制などについて理解する。 |
| 13 | 保護者に対する支援 | ・保育所における保護者に対する支援の基本、保育所に入所している子どもの保護者に対する支援、地域における子育ての支援等を理解する。 |
| 14 | 諸外国の保育の 現状と課題 | ・世界の保育の制度・子どもの福祉、世界の保育、保育の質の維持と向上等 DVD等を通して現状や課題を理解する。 |
| 15 | 評価及び 振り返りとまとめ | ・保育実践の適切な評価のための観察方法や評価の仕方について学ぶ。 また、保育原理について学びの振り返りや自己評価（まとめ評価）をする。 |
| | 期末試験 | |

○参考書・参考資料

- ・幼稚園教育要領（文部科学省）、保育所保育指針（厚生労働省）、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（内閣府・文部科学省・厚生労働省）
- ・新・保育原理（みらい）、必要に応じてプリント配布等

○学生に対する評価方法

- ・授業への参加態度やレポート提出、発表及び期末試験で総合的に評価する

【海老澤宣子】

東奥幼稚園 元園長